

第12号

緑高 SSIH

科学的時間
まとめ号ないん

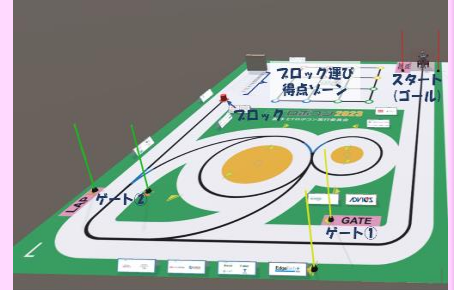
2024年2月20日



ETロボコン2023エントリークラス大会(10月22日)

2023年10月22日(日) ET ロボコン 2023 エントリークラス大会が開催されました。

ET ロボコンとは、指定されたコースを速く、正確に走行するロボットの制作を競うコンテストで、共通の走行ロボットを用いて競います。ロボットが共通なので、勝敗を決めるのはロボットの“設計プログラム！”図のようなコースをどう攻略するか、全てプログラミング言語を用いて設計します。本校からは数学物理部を中心にメンバーを募り、5人のメンバーで参加しました。5月にメンバーが決まり、6月にプログラミング環境の構築、7月に技術研修会や試走会への参加、夏休みにモデルの作成、9月コードに修正を繰り返し、9月末、締め切り間際にプログラムを提出しました(今回参加したエントリー部門では、実機の走行ロボットではなく、シミュレーター上の走行ロボットを動かすので、プログラムの提出し、大会当日はシミュレーター上の走行の様子を観戦します)。結果は43チーム中、35位でしたが、大学・企業中心の大会に初めての挑戦でよく健闘しました！来年は実機を動かすプライマリークラスに挑戦します(実機の制御はシミュレーターに比べはるかに難しく、プライマリー部門は競技内容も難易度が増します)。メンバーは「緑高の先駆者として頑張りたい」と前向きに答えてくれました。



競技コース
・スタート地点からゲート①を通過し、ゲート②を通過するまでのタイム
・ゲート②通過後、ブロックを指定ゾーンまで運ぶ精度
・指定時間内(2分)にゴール地点に戻ってこれたかの3点で、競技得点が決まります。

アカデミックキャラバン(11月2日)

11月2日(木) 鎌倉芸術館においてアカデミックキャラバンが行われました。今年度は国立研究開発法人海洋開発研究機構(JAMSTEC)生物地球化学センターの高野淑識センター長代理をお招きし、はやぶさ2が持ち帰ったリュウグウの岩石の分析から生命誕生に関わる研究についてお話いただきました。生徒からは「宇宙探査の今後の展望」「有人探査と無人探査の比較」「オシリス=レックスの採取岩石の分析の現状」など、最先端の研究について質問が相次ぎ、さらに「研究が思うように進まない時はどうしますか」といった探究活動の苦労が垣間見える質問もありました。最後に生徒に向けて、自分の得意を伸ばす、英語を伸ばす、チャンスをとらえる、といったアドバイスがありました。終了時間になっても質問の挙手が止まらず、生徒の関心の高さが表れていました。当日の講演で生徒に「研究はたのしい」というメッセージが伝わったことと思います。



科学の甲子園(11月3日・23日)



11月3日(金・祝)、23日(木・祝) 科学の甲子園神奈川県大会が総合教育センターで開催され、本校からは化学生物部を中心に有志生徒8名が参加しました。科学の甲子園は物理、化学、生物、地学、数学、情報の6教科からなる筆記競技(11/3)と実技競技(11/23)からなり、その合計点で一位となった学校が全国大会に進みます。今年は23校が参加しました。筆記試験は各教科2名で担当を分け、昼休みを中心に夏休み明けから勉強を進めてきました(6教科を60分で解答するので、分担は必須！)。実技試験の詳細は公表NG(本当は紹介したい…)なので、話せませんが、放課後に試行錯誤を繰り返し本校の“方針”にこだわりをもって戦いました。結果は、筆記15位、実技7位、総合13位でしたが、実技競技では他校の生徒から「勝負に勝ったのは緑ですよ」という嬉しい声もかけられました！参加生徒からは「科学に対する興味が湧いた」「分野横断的な思考力がついた」「科学が好きな人とわいわいやれたのは良い経験です」とポジティブな感想も！興味がある人はぜひ来年一緒に戦いましょう！